

# 島根 更生保護

NO.176

(平成25年1月1日発行)  
島根県保護司会連合会

〈島根更生保護データ〉  
保護司総数 500人  
保護観察事件 169件  
環境調整事件 229件  
(24.12.1現在)



佐太神社 真神楽(巫女の舞) (写真提供 佐太神社・松江市)



## 御挨拶

松江地方検察庁検事正  
新倉英樹

皆様方には、平素から犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの改善更生と地域社会における犯罪予防活動に御尽力いただき、また、“社会を明るくする運動”の推進に格別の御理解と御協力を賜り、この運動を主唱しております法務省の諸機関を代表しまして、厚くお礼申し上げます。

私は、昨年6月26日付けで着任し、およそ半年が経ちました。島根県の印象は、風光明媚であるとともに歴史の奥深さを感じ、また、県民の皆様がとても親切であることです。

島根県は、全国的にみると、比較的治安のよい県の一つです。その理由は、歴史と伝統に支えられた土地柄と、人情味あふれる県民性にあると思います。

しかしながら、最近の犯罪情勢をみますと、犯罪認知件数は減少しているものの依然高い水準にあり、社会を震撼させる殺傷事件や高齢者など社会的弱者を狙った犯罪が後を絶たない状況にあり、島根県内においても、女子大学生被害にかかる死体遺棄等事件が犯人を検挙できないまま3年余りを経過するなど、県民の体感治安の悪化が懸念されるところです。

また、繰り返して犯罪を犯す再犯者の比率は、近年上昇傾向が続いており、政府の犯罪対策閣僚会議は、昨年7月、「再犯防止に向けた総合対策」を策定しました。

その中においても、保護司制度の基盤整備と充実・強化が謳われており、保護司の皆様に対する期待は従来にも増して高いものになっております。

皆様のこれまでの御労苦に感謝いたしますとともに、ますますの御尽力をお願い申し上げます。私の挨拶といたします。



松江保護観察所  
所長 安田 健二

新年明けましておめでとうございます。

県下の更生保護関係者各位におかれましては、御家族お揃いで健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素、更生保護に格別な御支援と御協力を賜っておりますことに対し、心から厚く御礼申し上げますとともに、本年が皆様方にとりまして益々幸多い年となりますようお願い申し上げます。



島根県保護司会連合会  
会長 坂本 圭祥

新陽輝く初春を迎え、謹んでお慶び申し上げますと共に、更生保護関係者各位のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

平素の更生保護事業・連合会活動に格別のご理解とご支援に深く感謝し、更なるご協力とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



更生保護法人島根保護観察協会  
理事長 溝口 善兵衛

新年明けましておめでとうございます。

本年も更生保護事業の充実と発展に取り組み、安全・安心な社会の実現に向けて努力して参ります。皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして幸多い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



更生保護法人 島根更生保護会  
理事長 福田 和夫

謹んで新春の賀頌を申し上げます。

昨年は更生保護会の運営と新築のためにご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

施設の建築も計画どおり工事が進んでおり、三月中頃には完成して新たな姿をお見せできる予定です。一層のご支援をお願いいたします。

## 新年のご挨拶



島根県更生保護女性連盟  
会長 尾崎 修子

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

新年が幸多くよき年でありますように祈念し、母の愛をスローガンにかかげ、全ての地域に即応した更女活動を展開して参りたいと存じ居ります。関係機関、会員皆様のご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。



島根県BBS連盟  
会長 本宮 和也

謹んで新年のお慶びを申し上げます。更生保護関係者各位におかれましては、BBS活動や社会貢献活動、社会を明るくする運動等の事業推進のために多大なご理解とご協力をいただいていることに心からお礼申し上げます。本年も皆様方のご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。



島根県協力事業主会  
会長 坂根 勝

明けましておめでとうございます。

本年も引き続き更生保護関係機関・団体との連絡協調を推進して参ります。NPO法人 島根県就労支援事業者機構との関係もより進展するよう取組みたいと思っております。

どうかご理解ご協力をお願い申し上げます。



NPO法人 島根県就労支援事業者機構  
会長 若佐 博之

明けましておめでとうございます。

更生保護関係者各位のご健勝とご多幸を心よりお慶び申し上げます。

当NPO法人は設立から4年を迎えます。今年は更に充実した態勢とすべく「島根県協力事業主会」との連携をより深める所存ですので、何分のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# 平成24年度 島根県更生保護事業関係者顕彰式典

平成24年11月22日(木)午後1時20分から松江市総合福祉センターに於いて多数の更生保護関係者が参集し、今年度の顕彰式典が行われました。当日は丸山晴夫中国地方更生保護委員会委員長、山寄和信松江地方・家庭裁判所長、新倉英樹松江地方検察庁検事正、景山博教島根県健康福祉部青少年家庭課長、大島芳弘松江刑務所長、林隆志松江少年鑑別所長、櫻木明彦島根あさひ社会復帰促進センター更生支援企画官、若佐博之島根県就労支援事業者機構会長、坂根勝島根県協力事業主会長のご臨席をいただき、島根県保護司会連合会坂

本圭祥会長の式辞、松江保護観察所安田健二所長の挨拶に続いて、永年更生保護事業に功績のあった166名の方に表彰状が、111名・12団体の方々に感謝状が贈呈されました。

表彰が終わってから、受彰者を代表して倉橋裕子保護司(雲南地区)の謝辞があり、来賓としてご来場いただいた丸山委員長、山寄裁判所長、新倉検事正、景山課長(島根県知事祝辞の代読)の祝辞をいただき、祝電披露の後、島根県保護司会連合会神一紀道常務理事の万歳三唱により式典を終了しました。



受付風景



式辞(連合会坂本会長)



表彰状授与(所長表彰)



代表謝辞



来賓祝辞(丸山中国委員長)



法務大臣表彰者

## 平成24年度 各種表彰受彰者 (敬称略)

### 法務大臣表彰

- 家 島 佳 子 (松江)
- 佐 藤 昭 雄 (松江)
- 田 中 篤 美 (安来)
- 若 槻 幸 雄 (雲南)
- 倉 橋 裕 子 (雲南)
- 勝 部 治 良 (出雲)
- 河 瀬 康 承 (出雲)
- 渡 邊 和 夫 (大田)

- 杉 田 雅 弘 (浜田)
- 波 田 英 機 (益田)
- 橋 本 貴 美子 (隠岐)

### 法務大臣感謝状

- 更生保護女性会員
- 宮 下 淳 子 (松江)
- 又 賀 清 子 (益田)
- 〔全国保護司連盟理事長表彰〕
- 松 本 信 雄 (松江)
- 石 川 正 伸 (松江)
- 仙 田 芳 弘 (安来)

- 落 合 慧 (雲南)
- 岡 田 泰 明 (出雲)
- 菅 本 道 彦 (大田)
- 井 下 慈 海 (邑智)
- 沖 野 邦 男 (浜田)
- 西 田 良 子 (浜田)
- 前 田 士 (益田)
- 〔内助功労者〕
- 近 藤 五十子 (安来)
- 和 田 二三子 (大田)

- 〔全国更生保護法人連盟理事長表彰〕
- 松 本 治 美 (島根保護観察協会)

### 日本更生保護女性連盟会長表彰

- 野 津 イマ子 (松江)
- 村 上 清 子 (大社)
- 永 見 正 子 (江津)
- 井 上 恵 美子 (隠岐)

## 受章者

更生保護功勞による  
叙勲・褒章（敬称略）

瑞宝双光章 吉長義親（松江）  
藍綬褒章 三木弘道（雲南）



### ご挨拶

松江地区 吉長義親

このたび、はからずも叙勲の榮に  
浴しました。

過般、伝達を受け、皇居に参内し天皇陛下に拝謁し、労いのお言葉を戴き感激し、あらためて保護司の役割の重大であったことを思い、更生保護事業の大切さも感じさせられました。

これまでの自分の活動には忸怩たるものがあります。しかし、ひとまず大過なく責務を果たし得て、今日を迎えることが出来ましたのは、保護観察所所長様、職員の方々によるご指導・ご助言、仲間の保護司様のお支え、お出会いました沢山

の皆様のご理解とご協力と家族の援助のお蔭であり、感謝の念でいっぱいです。

積年にわたる研修は自己を高め、教員在籍中は大変でしたが、かえって活動の力となり、立場は自戒ともなり、充実した日々になりました。

不思議な縁で出会った青年諸君の更生に、喜びを感じたことは役得(?)でした。

保護司という立場で、更生保護活動はもとより、青少年育成活動・福祉の活動等を推進し、多様な人生相談等に応じ、地域の一員としてのお勤めもさせていただき、有難いことでした。

更生保護活動の益々の進展と関係の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶と致します。



### 褒章受章に感謝して — 就労支援に全力 —

雲南地区 三木弘道

平成24年秋の褒章に際し、図らずも藍綬褒章の榮譽に浴しました。身に余る光栄と、感謝感激するとともに汗顔の思いでございます。

これも偏に御教導戴きました松江保護観察所所長様、各課長様、保護観察官の皆様、先輩、同僚等のおかげであり、心から低頭して厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

平成24年11月13日、妻と共に法務省に於いて褒章伝達式に臨み、直ちに褒章を胸に宮中春秋の間に於いて、天皇陛下よりお言葉、拝謁を賜りました。

有難く勿体ない気持ちで一杯でございます。平素から何かと心配を掛けています妻に聊かのご恩返しが出来たかなと感慨一入でございます。

雲南地区会長として懸案の協力雇用主協議会設置に全力を傾注して、参りたく存じます。

保護観察期間中に再犯を犯す人の大部分が就労の場が無く、悶々としている内にストレスが溜まり、再犯するケースが後を絶ちません。

私にも苦い体験がございます。現下の社会経済状況下では、理想と現実の狭間ですが、プラス思考で先ず、組織を立ち上げて、雇用主の皆様とスクラムを組んでチャレンジ致したく、私が先頭に立って努力精進して、褒章の榮に報いることをお誓い申し上げます。合掌。

## 愛の図書贈呈式

平成24年12月5日（水）松江保護観察所において、島根県更生保護女性連盟による第52回「愛の図書贈呈式」が行われました。皇后の宮御歌斉唱、要綱唱和の後、尾崎修子県更女連盟会長、安田健二松江保護観察所長の挨拶があり、尾崎会長から下記の11施設の代表の方へ“愛の募金”による「図書」が贈呈されました。それぞれの施設等で書籍に親しみ、読書を通して豊かな心を育ててもらうものです。贈呈式後、受領者を代表して島根県女性相談センター永島所長から謝辞がありました。



松江刑務所、島根あさひ社会復帰促進センター、美保学園、松江少年鑑別所、わかたけ学園、中央児童相談所、出雲児童相談所、浜田児童相談所、益田児童相談所、島根県女性相談センター、島根県更生保護会

### 地域と共に創る 新しい刑事施設

浜田地区保護司会 中田 嘉明

受刑者の真の更生と円滑な社会復帰の実現を目指して浜田市旭町に新しい刑事施設「島根あさひ社会復帰促進センター」が平成20年に新設されました。

島根あさひ社会復帰促進センターの最大の特徴は、PFI事業として建設、維持管理、運営などにおいて民間の資金やノウハウを活用し、地域との共生をコンセプトとして「地域の力」と「国の経験」と「民間のノウハウ」を融合させて運営されていることにあります。

#### 【施設概要】

敷地総面積 約325,000㎡  
収容対象者 犯罪傾向の進んでいない男子受刑者 2,000人  
職員数 国約200人・民間約300人

既存の施設との大きな違いは、衣服にICタグを装着した収容者が施設内を単独で移動することが認められているところであり、中央監視卓で位置情報を把握し、移動箇所が瞬時に判明することで収容者の自立性、自主性、責任感の醸成に役立っています。

また、盲導犬パピープログラム、ホースプログラムや園芸療法（トマトなどの野菜栽培、梨園の管理など）を取り

視点

焦点

入れるなど他の職業訓練に加えて斬新な訓練に取り組み、社会復帰に向けてさまざまな取り組みをしています。

その中の1つとして欧米で実績のある教育プログラムを積極的に活用して改善更生を促す取り組みをしています。

○認知行動療法 犯罪的な行動を繰り返させる「思考」と「感情」を変化させるとともに、自身が犯罪を起こすに至る行動の「サイクル」を考えさせる。その上でそのサイクルから脱却するプランを実行する力を身に付けさせる。

○回復共同体 人間性をトータルに学習する場として精神的な絆で結ばれた人間関係を施設内に構築し社会で生きる個人として責任を果たすための考え方や行動の仕方を施設内の生活を通じて互いに学びあう。

○修復的司法 自ら犯した行動と向き合い、人としての尊厳と絆を回復させるための責任を果たすことが加害行為の償いであることを知り、3つの責任（被害者への説明責任、再犯防止責任、謝罪・償いの責任）を自分なりにどのように果たしていくか考える。

また、社会復帰支援コミュニティとして職員宿舎、武道場、ビジターセンター、子育て支援施設（認定こども園）、盲導犬訓練センターやドッグランなどを併設して「街」として開発され、地域との交流にも力点が置かれています。

### 社会を明るくする運動と「予防教育」

出雲地区 錦 織 博 子

最近、社会問題になっている中学生のいじめ自殺の対策の一つとして「予防教育によっていじめをなくす」という方向がうたがだされてきた。

社会を明るくする運動も、まさに、犯罪予防の「予防教育」そのものではないだろうか。

私が保護司になった頃は、斐川支部では工業団地の大工場を訪問して、社会を明るくする運動の呼びかけをすることを活動の一つにしていた。私は少年補導委員もしているが、青少年の犯罪傾向などを聞くにつけ、身近にいる子ども達（特に中学生）に直接語りかける必要があるのではないかと強く思うようになってきた。

中学校の教育プログラムの中での指導は受けていても、学校外の第三者から語りかけられることによって子ども達の心に強く印象づけられ、それが犯罪予防に役立つのではないかと考えた。そこで、中学校の協力を得て全校生徒対象の講演会と生徒代表と保護司との対話集会和、町内に二校ある中学校で交互に開催してきた。私達の思いが、中学生の心に、誘惑を払いのける抑止力となって残り、犯罪予防に少しでも役立っていることと信じている。

社会にアピールする意味で派手なパフォーマンスも必要だとは思うが、私達の活動は地味でも真の犯罪予防の「予防教育」だと思っている。



H24.7.6 中学生代表と保護司との対話集会  
於 斐川西中学校

### 明るい地域づくりの一役を

平田地区 大 谷 民 子

平田地区更生保護女性会は、10支部179名の会員で活動しています。「明るい地域づくり」を主眼に、特に子どもたちの健やかな成長を願い地区保護司さんや地域の方々と連携しながら活動しています。

#### 〈平田地区の年間事業〉

総会・研修会、愛の募金活動、更生施設訪問、社明運動キャンペーン活動、赤い羽根街頭募金、健康福祉フェスティバル参加、更女だよりの発行等

#### 〈各支部の年間活動〉

入学お祝会、卒業お祝会、クリスマス会、更生保護施設訪問、読み聞かせ、通学下校時声かけ、社明講演会、地区夏祭・文化祭に参加等々

会員たちは、地域の人たちや子どもたちと触れ合っていて楽しくボランティアができることに何よりの喜びと生きがいを感じています。

今後も慈しみの心を根底に活動する女性団体として、コミュニティセンター等地域の事業に進んで協力いたします。そして、その活動により更生保護女性会を知っていただき、明るい地域づくりの一役を担いたいと思います。



H24.3.25 平小入学お祝会



# 第62回 社会を明るくする運動 作文コンテスト 島根県最優秀作品

小学生  
の  
部



## 勇気をもって一言

浜田市立雲城小学校 6年

堀 文 哉

ぼくは、地域の野球の少年団に入っています。ぼくは、6年生になりピッチャーを任されました。一試合投げるには体力が必要です。チームのためにもたくさん走って体力をつけようとがんばっています。

ある日ぼくは、いつものように町内を走っていました。すると、ぼくの前の方に大きな荷物を持って歩いている人が見えました。「大きい荷物を持って大変そうだな。」と思いながら、その人との距離が少しずつ近づいていきます。荷物を持っているのがおばあさんだというのが分かりました。そのとたん、ぼくの頭の中には「どうしよう。」という思いでいっぱいになりました。重くて大きな荷物を大変そうに運んでいるおばあさんに、なんて声をかけたらいいんだろう。「あいさつだけでいいのかな。」「手を貸してあげた方がいいのかな。」など、考えながら走っていくうちにどんどん距離は近づいていきます。ぼくの胸もどんどんドキドキしていきます。すると、ぼくの前を歩いていたお兄さんがそのおばあさんに、「重そうですね。お手伝いしましょうか。」と声をかけました。おばあさんは、うれしそうな顔で「ありがとう。」と言って、手伝ってもらっていました。それを見たぼくは、おばあさんが助けてもらったことに対し、ホッとしたのとうれしい思いになりました。それと、重たい荷物を持っていたおばあさんの姿を見てあたりまえのように声をかけたお兄さんを「すごく優しい人だな。」という思いでいました。ぼくは、声をかけようかどうしようか悩んでいたのがすごく恥ずかしくなりました。その二人の横を

通り過ぎる時、「こんにちは。」と言って通り過ぎましたが、心の中では、「お兄さんありがとう。」という思いで走り去りました。なんだか恥ずかしかったのと、その場を早く通り過ぎていきたいという思いで急いで立ち去りました。

しばらくして、また、いつものように町内を走っていました。すると、学校の前の石段を、腰を曲げながら杖をついてゆっくりと登っているおばあさんがいました。「大変そうだな。」と思いながら、その場を通り過ぎようと思いました。でも、ふとあの時のお兄さんの姿を思い出しました。「このまま通り過ぎたらぼくはあの時と同じだ。」と思い、おばあさんの横に行き、「大丈夫ですか？お手伝いしましょうか。」と勇気をもって声をかけました。するとおばあさんはぼくの顔を見ながら「お願いします。」と言ってくれました。ぼくは、緊張しながらおばあさんの手を持ち、腰に手をあてていっしょに石段を上りました。緊張していたので、その間何を話したとかよく覚えていませんが、いつも上っている学校の石段が違ったように感じました。石段の上まで上った後ぼくは、「それでは。」と走っていこうとしたら、おばあさんが「ありがとう。」と言ってくださいました。その一言にぼくは、なんだかすごくうれしい気持ちになりました。そして、おばあさんに「はい。」と返事をしてその場を立ち去りました。でも、あの時とは違い、心もかるく、足取りもかるく、自然と走るスピードもあがりました。いつもと違い走るのがとても気持ち良かったです。

ぼくは、今回のことで大切なことを感じました。

それは、ぼくたちの町には、小さい子、高齢者の方、障害のある方などたくさんの方がいて、ときどき助けを必要とされることがあります。そんな時に、だまって通り過ぎるのではなく、「大丈夫ですか。お手伝いしましょうか。」と、一言かけるのが大切だということです。その一言を言うのにすごく勇気がいります。でもその一言で、人の役に立ち喜んでもらえます。そして、自分もうれ

しい気持ちになります。おたがいがうれしい気持ちになれる一言が言えることで、ぼくたちの町はもっともっと明るくなっていくのではと思います。知っている人でも知らない人でもおたがいが助け合い、協力していける町になっていけるようにぼくはこれからもたくさんの人に声をかけていけるように心がけたいと思います。

## 中学生 の部



### 人は一人ではない

安来市立伯太中学校3年

丸瀬彩花

私の曾祖父は、18年前から毎日欠かさず、小学生の通学路に立ち、子どもたちの安全を見守っています。おとし、体調をくずしましたが、九十歳の今でも、体調の良いときには、笑顔で立っている曾祖父の姿を目にします。

私が母の実家へ行き、そんな曾祖父と歩くことがあると、たくさんの人に声をかけられます。小さな子どもから大人まで、中には車に乗っている人まで手を上げたり、会釈をしたりするので、私はいつも驚かされます。

小さい頃私は、なぜこんなにたくさんの方が曾祖父のことを知っていて声をかけてくるのか不思議でした。ですが今なら、声をかけてくれるのは、曾祖父が見守っている子どもの保護者や、今はもう大人になっている昔見守っていた子どもたちなど、曾祖父が立っていることで知り合ったつながりのおかげなんだと分かるようになりました。

雨の日でも、風の日でも変わらず子どもたちを見守り、またたくさんの人に慕われる曾祖父を見て、すごいと思う反面、なぜここまで人のために行動できるのか私は疑問に思いました。そんな疑問に答えてくれたのは祖母でした。

「おじいちゃんはねえ、人に親切にするのが好きとか、そういう性格なのかな。例えば困っている人がいたとして、他の人がそれは自業自得なのではないかなと思うことだったとしても、おじ

いちゃんは、助けなければってその人のために動こうとするんだよね。人に親切にするのを、生きがいとか使命感みたいに感じている部分があるんじゃない？」

私は人と関わる上で、自分よりも人のことを考えるのを難しく感じ、また友達と接するのを面倒と避けてしまうことがありました。ですが、曾祖父を見たり、祖母の話の聞いたりして、人は一人ではなく、曾祖父が見守る子どものように、いつのまにか支えられ、助け合い、それによって広がる輪のようにたくさんの人とつながっているのだと思うようになりました。また、曾祖父を見ると、そのつながりはとても大切なことだと思います。子どもたちのことを聞くとうれしそうに話す曾祖父、きっと自分が相手に関わることで、気づかぬうちに曾祖父も、その人たちの元気や笑顔に支えられているのだと思いました。

私はこれから生きていく中でたくさんの人に支えられ、助けられると思います。だからこそ、そのつながりを大切に、自分もたくさんの人を支え、助けることができればいいと思います。

そのためにも、これから私は、人と接することをためらわず、積極的に声をかけていこうと思います。そこでできたつながりはきっと私の支えとなるはずだから。

# 第62回 社会を明るくする運動 作文コンテスト入賞者

応募総数926点 (小学校547点・中学校379点)

## 【小学生の部】

- 最優秀賞 (島根県推進委員会委員長賞)  
堀 文哉 (浜田市立雲城小学校6年)  
「勇気をもって一言」
- 優秀賞 (島根県保護司会連合会長賞)  
森山 琳 (雲南市立阿用小学校5年)  
「あたりまえ」
- 優秀賞 (更生保護法人島根保護観察協会理事長賞)  
高井 彩 (隠岐の島町立五箇小学校5年)  
「言葉の力」
- 優秀賞 (島根更生保護女性連盟会長賞)  
恒松みのり (江津市立高角小学校6年)  
『「あっ」のしゅんかんに声かけを』  
山形 凜花 (出雲市立高松小学校6年)  
「あいさつで明るい社会づくり」
- 優秀賞 (島根県BBS連盟会長賞)  
梶野 和音 (松江市立川津小学校5年)  
「心の弱さ」  
谷口芽生恵 (浜田市立長浜小学校5年)  
『人と人との心のつながり「絆」』
- 優秀賞 (山陰中央新報社賞)  
吉川 拓馬 (安来市立飯梨小学校5年)  
「今僕にできること」  
岸 奈々美 (松江市立大庭小学校5年)  
「きまりを守ろう」

## 【中学生の部】

- 最優秀賞 (島根県推進委員会委員長賞)  
丸瀬 彩花 (安来市立伯太中学校3年)  
「人は一人ではない」
- 優秀賞 (島根県保護司会連合会長賞)  
飯島美穂子 (島根大学附属中学校2年)  
『「尊厳」ある生』
- 優秀賞 (更生保護法人島根保護観察協会理事長賞)  
佐々木風花 (江津市立青陵中学校2年)  
「信じることの大切さ」
- 優秀賞 (島根県更生保護女性連盟会長賞)  
三浦 有紀 (吉賀町立柿木中学校3年)  
「地域に支えられて」  
石田 沙妃 (安来市立広瀬中学校1年)  
「奉仕活動を通して」
- 優秀賞 (島根県BBS連盟会長賞)  
吉田 歩実 (出雲市立第二中学校2年)  
「一步をふみ出す勇氣」  
長尾 萌 (江津市立江津中学校3年)  
「この町で生きる」
- 優秀賞 (山陰中央新報社賞)  
福田 竜也 (安来市立第三中学校3年)  
「あいさつについて」  
山根 万歩 (隠岐の島町立西郷南中学校1年)  
「田舎力を見直そう」

☆全国レベルでの審査の結果、小学生の部で森山琳さんの作品は日本更生保護協会理事長賞に、中学生の部で佐々木風花さんの作品は全国中学校長会会長賞に決定しました。

## 保護司の異動

【退任保護司】 12名 (平成24年11月30日付)

建田 浩一 (松江)	武田 愛治郎 (大田)
出川 和雄 (松江)	田尻 孝道 (大田)
吉長 義親 (松江)	岩藤 福治 (浜田)
藤原 三葉 (松江)	安野 伸路 (益田)
足立 進 (出雲)	中村 富士男 (益田)
錦 織博子 (出雲)	兼子 哲彦 (益田)

【新任保護司】 14名 (平成24年12月1日付)

小塚 昭郎 (松江)	花田 久美子 (出雲)
柏木 洋子 (松江)	山上 太全 (出雲)
北原 則夫 (松江)	岡本 正博 (浜田)
桑嶋 幸治 (松江)	金本 晶 (浜田)
多久和 良昌 (松江)	千代延 尚子 (浜田)
藤原 誠 (松江)	石田 悦子 (益田)
足立 眞司 (出雲)	古永 千恵美 (益田)

島根県保護司会連合会のメールアドレスが出来ました。  
shimane-kenhoren@i.gmob.jp

## ご支援ありがとうございました

(島根保護観察協会)

敬称略

三木 弘道  
尾崎 修子

敬  
弔

下記の方がご逝去されました。ご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

元保護司	佐々木 嵩 (浜田)	(平成24年10月7日死亡)
元保護司	常角 千恵子 (隠岐)	(平成24年10月25日死亡)
元保護司	持田 基 (出雲)	(平成24年11月8日死亡)
元保護司	松本 貫一 (松江)	(平成24年12月7日死亡)

(表紙写真説明) 佐太神社 真神楽 (巫女の舞)

佐太神社に伝承されている巫女の舞です。現在は5月3日の直会祭、9月24日の御座替神事で奉奏されています。国重要無形民俗文化財・ユネスコ無形遺産の佐陀神能の中では、「日本武」、「磐戸」、「三韓」で舞われます。

(文責 松江地区 幡垣裕行保護司)